

# ちいさなきと はじまりのまち

さく・にしおりか  
え・奥村 晃大



ちいさなきと  
はじまりのまち



おやまのてっぺんに、ちいさなきが はえていました。

ちいさなきは おやまのむこうが みたいのですが  
どうしても みえません。



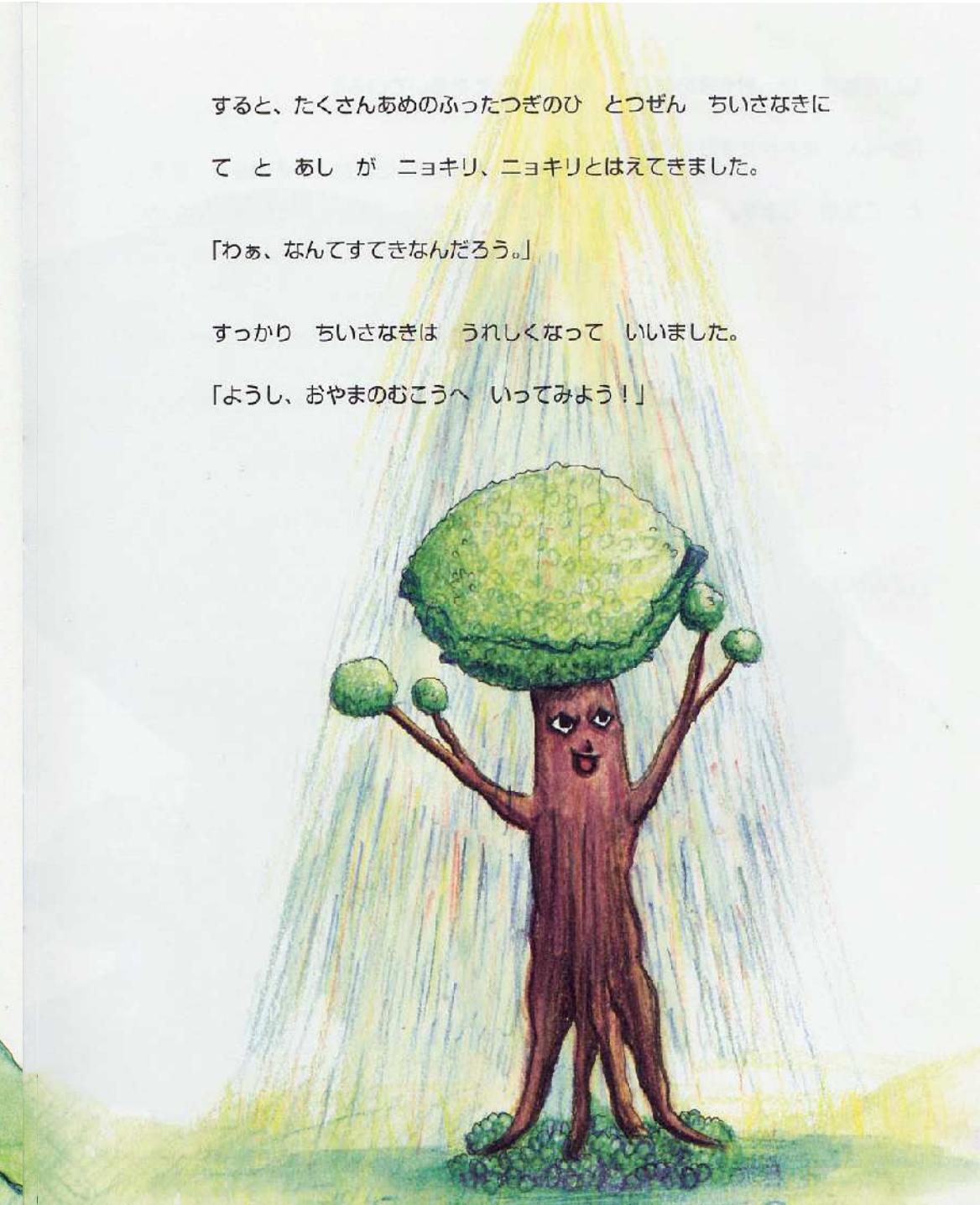
すると、たくさんあめのふったつぎのひ とつぜん ちいさなきに

て と あし が ニヨキリ、ニヨキリとはえてきました。

「わあ、なんてすてきなんだろう。」

すっかり ちいさなきは うれしくなって いいました。

「ようし、おやまのむこうへ いってみよう！」

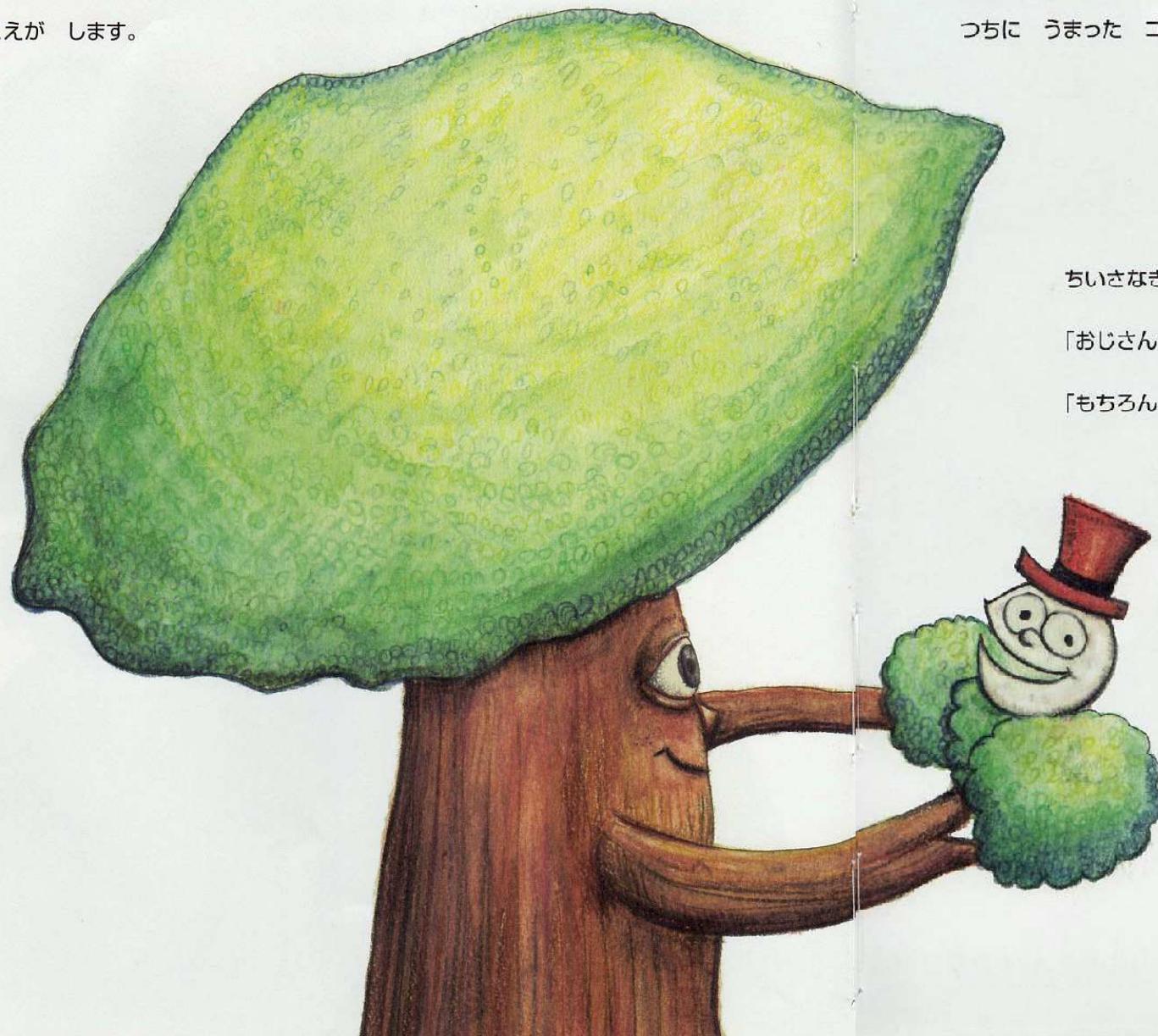


ちいさなき が おやまのむこう を めざしてあるいでいると

「おーい。 だれかたすけてくれ~」

と こえが します。

こえの するほうへ ちかづいていくと  
つちに うまた ゴルフボールを みつけました。



ちいさなきは ちいさなで ほりおこしてあげて ききました。

「おじさん、 おやまのむこうがわ ってどんなのかしてる?」

「もちろん! たすけてくれた おれいに みちあんないを してあげよう。」

ふたりは なかよく おやまを のぼっていきます。

すると、みちばたの マツのきが はなしかけてきました。

「おやおや、きみは みかけないやつだな？

どこにいくんだ？」

「おやまのむこう を みにいくのさ。」

「おやまのむこう か。 みたことがないなあ…。

だったら オレも つれていってくれよ。」

マツのきは みるみるうちに すがたをかえ

りっぱな たてがみの ライオンに なりました。

そして、

「おーい！ おやまのむこう を  
みにいきたいやつは あつまれー！」

ライオンは おおきなこえで よびかけました。

すると…

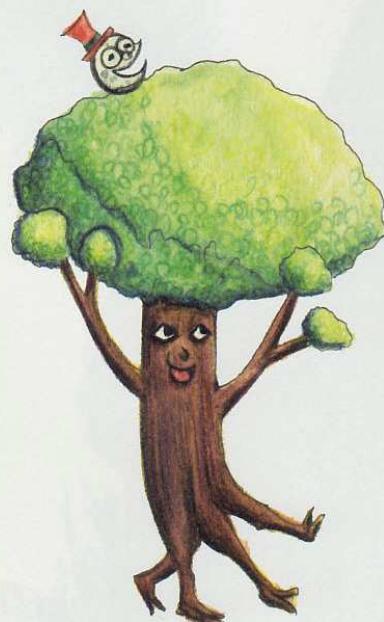


しげみの なかから、  
ポプラの キリン、 サクラの ウマ、 モミの シカ が  
つぎから つぎへ、 ひよい ひよい と でてきました。

「おやまのむこう、 いってみたい！」

なかまが たくさんふえて ちいさなきは おおよろこび！

「さあ！ みんなで パレードだ！」



ゴルフボールの おじさんの あんないで

ちいさなき や たくさんの中なかたちの ふしぎなパレードは  
まちや ひろばを どんどん すすんでいきます。

その ふしぎな こうけいに、まちのひとは みんな びっくり！  
けれども、あまりにも たのしそうなので  
みんな そのあとに ついていきます。

どんどん さらさら どんどん さらさら…

そして とうとう ちいさなさが しりにかつた  
おやまのむこう がみえてきました。

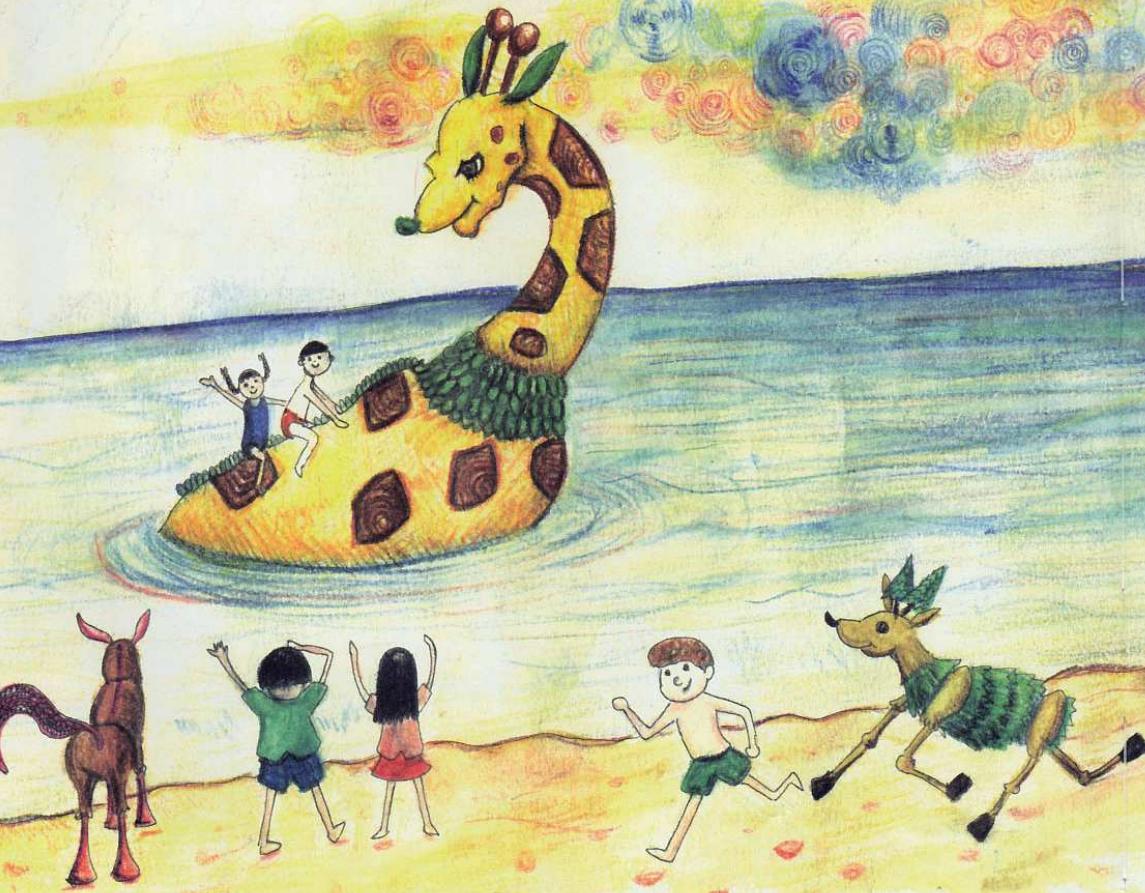
## 「うみだー」

みんな うみをみて かけだして いきます。

こどもも おとなも おおはしゃぎ！

はまべを はしりまわったり、うみに はいったり、  
すなの おしろを つくったり…

はじめての うみで みんなで たのしく あそびました。



「たのしかったね、みんな。」

たくさん あそんで みんな うれしそうな えがおです。

そこで、ふと、  
ちいさなき は おもいつきました。

「そうだ、まちの ひとたちを  
おやまに しょうたいしよう。」



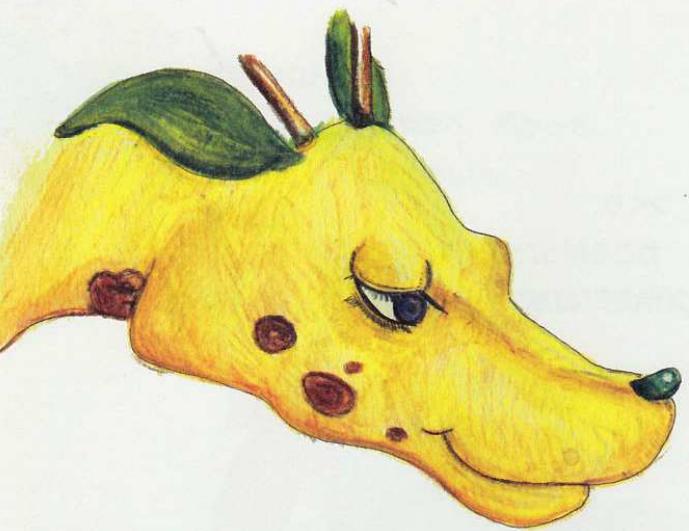
そして ふしきな パレードは  
ちいさなきの すんでいた おやまへ むかって  
また どんどこ すすんで いきました。

ちいさなきの すんでいる おやま は  
みどりに かこまれて たくさんのはなや いきもので いっぱいです。



みんなは はなわを つくり、  
かけっこを したり、ねころがったり、  
ゴルフボールの おじさんと ゴルフを したりして あそびました。





「ああ たのしかった たのしかった！」  
ひが くれてくると あたりは まくら。  
もう かえる じかんです。

でも たいへん。  
みんな こんなに とおくまで きてしまったんだもの…



「どうしよう…。」  
「だいじょうぶ！ まかせて！」  
ちいさなき は いいました。



ちいさなき や どうぶつたちの おうちが できてから  
やがて おやまは たくさんのおうちが ふえて  
おおきな まちに なって いきました。

まちには おおせいの ひとたちが くらし、たのしい おみせも できました。

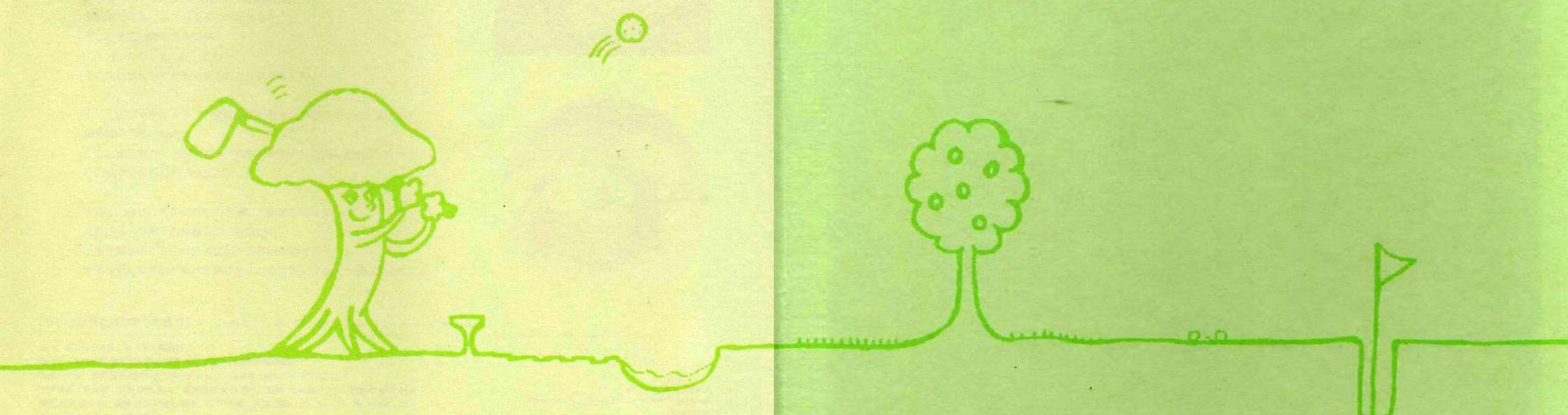
まちの ひとたちは、いつも しあわせそうに わらって  
こどもたちは えがおで なかよく はねまわっています。



バタバタ… ただいま！

さあ、きょうも だれかが げんきな あしあとで  
ちいさなき の おうちに かえって きましたよ…？





# ちいさなきとはじまりのまち

ゴルフ場だったところに新しいまちが生まれました。

それがガーデンシティ舞多聞です。

阪神・淡路大震災があったので、新しいまちを作ることになりました。

それでゴルフ場だったところを、住宅地に作り変えることになったのです。

今では、たくさんのお家がたち、  
たくさんのご家族が暮らすまちになってきました。

ガーデンシティ舞多聞は、自然いっぱいの新しいまちです。

このまちはデザインやまちづくりに力を入れています。

UR都市機構と神戸芸術工科大学がこのまちに住む人たちと協力して  
まちづくりを行っています。

この絵本はそんな活動の中から生まれました。

みなさんが住んでいる家。

家が建つ前にはなにがあったでしょうか。

どんな生き物が暮らしていたでしょう。

舞多聞の山で木を実際に切り、その木をつかって  
動物をつくるワークショップをしました。

そしてその動物たちをつれて、

山へ行ったり、海へいったり…

それをお話にして絵本にすることになりました。

そして、ワークショップで実際に感じ取ったものをエッセンスとして  
舞多聞の土地を舞台に  
この土地で育つこどもたちへ 地域の物語として読んでもらいたくて  
この絵本は作られています。

人間は、自然から色んなものを受け取っています。

これからの世界、自然を大切にしながら、

生活を豊かにしていく、お互いがお互いを助け合う、

未来がそんな平和で幸せな喜びあふれる世界になるよう願いを込めて。

「ちいさなきとはじまりのまち」文・にしおりか 絵・奥村晃大 (C) 2010 Rika Nishio / Akihiro Okumura

発行 2010年4月1日 第1刷発行

発行者 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 神戸西開発事務所

編集・企画 神戸芸術工科大学 ガーデンシティ舞多聞・絵本づくりプロジェクト

神戸芸術工科大学 学長 齋木 崇人、専任講師 谷口 文保、助教 久本 直子、大学院助手 鎌田 誠史

学生 小川 あかり、奥村 晃大、富永 紗子、木下 香織、長瀬 泰理、にしおりか、宮澤 由衣 ほか

製作・本文デザイン 盛 雅弥子

監修 神戸芸術工科大学助教 久本 直子

協力 こどもコミュニティケア代表理事 未永美紀子



◆ ガーデンシティ舞多聞  
<http://www.ur-net.go.jp/nagomilife/maitamon/>  
◆ UR都市機構  
<http://www.ur-net.jp/>  
◆ 神戸芸術工科大学  
<http://www.kobe-du.ac.jp/>



## 発行者

独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 神戸西開発事務所  
兵庫県神戸市垂水区宮本町1-30

ガーデンシティ舞多聞・絵本づくりプロジェクト

学校法人 谷岡学園 神戸芸術工科大学

兵庫県神戸市西区学園西町8-1-1

◆ ガーデンシティ舞多聞 <http://www.ur-net.go.jp/nagomilife/maitamon/>  
◆ UR都市機構 <http://www.ur-net.jp/>  
◆ 神戸芸術工科大学 <http://www.kobe-du.ac.jp/>